

# 第50回 なくせ！建国記念の日 許すな！靖国国営化 2.11東京集会

## いま、この時代に、この地に生かされて —キリスト者として憲法を考える—

世界の闇は深まっています。

第二次安倍自公連立政権の暴走は止まりません。特定秘密保護法の成立に続き、明白に憲法違反である「戦争法案」を強行採決し(2015年9月19日)、とうとう集団的自衛権の行使を可能にしてしまいました。閣議決定(2014年7月1日)だけでなく、法律的な根拠をつくりだしたのです。

もちろん、敗戦後の日本も決して「70年間戦争をしなかった」などと胸を張れる歩みをしてきたわけではありません。朝鮮戦争を経済復興のバネにしたり、沖縄をはじめ各地に米軍基地を存置し続けたり、PKF等で自衛隊は米軍と一体化した作戦行動をとったりもしてきました。憲法の柱の一つである平和主義は徹底していませんでした。

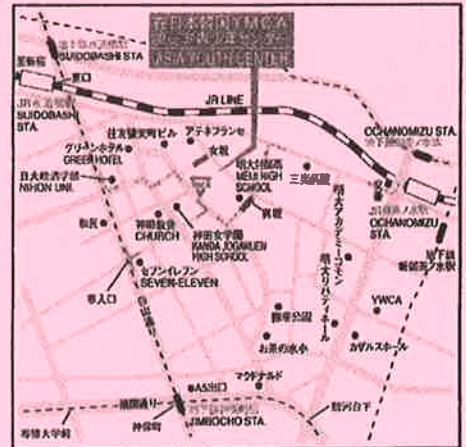
その延長線上に戦争法の成立があります。深いところでわたしたちは戦前と戦後をうまく断ち切れないままなのです。思想信条に対する国家の介入を許してしまう体質も、その現われです。「戦後は遠し、戦前近し」というよりは、むしろ「戦後は存在せず、戦時中が続く」という事態ではないでしょうか。

今回は講師に、朝岡勝さんをお迎えします。「特定秘密保護法に反対する牧師の会」の共同代表として、現政権の危険性に警鐘を鳴らし続け、戦争法反対の先頭に立ち続けている宗教者です。市民社会における良心の声に聴き入りたいと思います。そしてそれぞれの良心の声を寄せ合いましょう。小さな声の響き合う世界を共にかたちづくりましょう。



講師：  
日本同盟基督教団  
徳丸町キリスト教会牧師  
特定秘密保護法に反対する牧師の会  
共同代表  
**朝岡 勝 氏**

1968年茨城県出身。東京基督教短期大学、神戸改革派神学校卒業。日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会牧師。同教団常任書記。特定秘密保護法に反対する牧師の会共同代表。ふくしまHOPEプロジェクト事務局長。著書に『バルメン宣言を讀む』、『(あの日)以後を生きる』(いのちのことば社)、共著に『なぜ秘密法に反対か』(新教出版社)、『福島で生きていく』、『クリスチャンとして「憲法」を考える』、『この国はどこへ行くのか!?—教育・政治・神学の視点から』、『被災地と心のケア』、『東日本大震災から問われる日本の教会』(いのちのことば社)、『日の丸・君が代』問題を考えるシンポジウム』(一麥出版社)など。



日時:2016年2月11日(木)14:00~16:00(終了後デモ)

★会場費:800円(高校生以下無料)

★場 所:在日本韓国YMCAアジア青少年センタースペースワイホール(地下)  
JR水道橋駅徒歩6分、御茶ノ水駅徒歩9分、地下鉄神保町駅徒歩7分

主催:2.11東京集会実行委員会

後援:日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会・東京地方バプテスト教会連合社会委員会

集会賛同金にご協力をお願いします。

個人 一口1,000円/団体 一口3,000円 振込先(郵便振替) 00140-4-75776 2.11東京集会実行委員会